

8-4-18 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、7、8、9、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

web セミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。

地域交通やMaaSに着目して、以下2名の有識者を招き、ご講演頂いた。

- ・ 福島大学 人文社会学群経済経営学類
准教授 吉田 樹 様

演題：これからの地域交通デザインについて

- ・ 株式会社トラフィックブレイン
代表取締役社長 太田 恒平 様

演題：MaaSを横目に公共交通×IT×データを考える

(3) WG 活動

a) ITSに関わる技術、施策の調査

交通・ITSに関連する新たな技術的・社会的な潮流であるAI、MaaS、自動運転に着目し、最新動向を収集するとともに、今後、建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・ AI技術に関する今後の建設コンサルタントの役割として、従来手法とAI手法の使い分けや組合せの検討、オープンデータを活用した分析・要約、生成・対話等の用途への活用、導入結果の評価・検証等を整理
- ・ MaaSに関する今後の建設コンサルタントの役割として、地域課題や利用者ニーズを踏まえたサービス設計、まちづくりとの連携検討等を整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を調査し、ビッグデータの活用可能

性を検討した。

- ・ ビッグデータを提供する各社に個別問い合わせを行い、詳細を確認し、ビッグデータカタログの深化を実施
- ・ カタログ掲載企業のうち3社にデータ内容についての説明会を実施、データ活用の可能性等について意見交換を実施
- ・ 活用ニーズからビッグデータを逆引きできるカタログ（プロトタイプ）を作成

c) ITSを活用した次世代モビリティの調査

With コロナを想定し、新たなモビリティとその実装をサポートする法制度について、国内外の事例・動向・取組について幅広く調査を実施した。

- ・ 自動運転に関する関連省庁の動向
- ・ 新たな移動体の最新動向（ドローン、ロボットの活用、歩行支援自動運転等）
- ・ 海外のモビリティの動向
- ・ モビリティ関連の法の動向と課題

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、SWG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）